

文化

山口県の東端に位置し、江戸時代には毛利ではなく吉川が治めていたという点が、私が岩国に心引かれる理由である。

吉川家の藩祖広家は関ヶ原の合戦において東軍の徳川家康に内通し、兵を動かさずとしなかった。合戦後、西軍の総大将



緑地帯

高遠 信次

に就いていた毛利輝元藩（長府五万石・清末一萬石・徳山四万石）よりは、中国地方八カ国百二十万石の大名から防長二石高が高いのに、広家以外は支藩の下、宗藩家の相違が両者の齟齬の原封され、居城を日本海沿老の上の隣臣として因だった。

幕末の岩国 ① 輝元と広家

い秋に定めさせられた冷遇されるという関係が、広家は出雲富田から続いた。宗藩は関ヶ原の戦い以降に主戦派と和検地により六万石）へ転封され、存続を図る。しかし岩国は毛利三

かなわす、諸侯として認められなかったからである。このような歴史的経緯

しかし長州藩主毛利慶親は両者の関係を改善すべく吉川へ手を差し伸べ、岩国領吉川経幹は慶親へ忠誠を誓っていた。なせなら幕府が東から攻めて来るのは歴然だからである。

岩国は慶親がこの地を訪問した際に支藩として認められたが、幕府から39回中国短編文学賞第3席受賞者（広島市）